

麻 蔵



第52号 2023.6.5

神奈川県立秦野高等学校同窓会会報

《思い出のシリーズ》 2022年高校野球地区大会での応援風景



夏の全国高校野球地区大会、本校と高浜高校との対戦は地元の秦野球場で行われました。保護者、生徒をはじめ野球部OB、同窓生など多数がバックネットや三塁側で応援、そのかいあって勝利を飾りました。
写真は応援団、吹奏楽部、チアリーディングの応援風景です。

同窓会会報第52号目次

表紙	題字 宮本 信義(中5回)
スケッチ	岡村 泰成(高6回)
会長ご挨拶、創立百周年記念事業	1
校長ご挨拶	2
定期総会・表紙スケッチ	3
百周年記念寄付金状況	4
令和4年度事業報告・令和5年度事業計画案	5
令和4年度決算・令和5年度予算案	6
「青春かながわ校歌祭」	7
本部だより・支部だより	8・9
在職中の思い出・母校の近況	10・11・13
広畑が丘空はれて	12・13
部活動の近況報告	14・15
母校2022年度進路状況	16
大学・短大合格者延べ数・お知らせ	17
春の異動・物故者など	18

光の見えぬ不安の中で



同窓会会長

桐山 昌幸
(高15回)

桜花は若葉に移り緑も深まっていりました。今年度はコロナ禍に翻弄されましたが暗いトンネルの先に光明が差してまいりました。同窓会会員の皆様は、現身の誰もが経験したことのない環境の下でもめげず、各界でご活躍のことと推察します。同窓会事業活動もことごとく制限の中でも、令和4年度総会は3年ぶりに平塚支部を幹事支部として開催することができました。また「青春かながわ校歌祭」は紆余曲折を経ましたが今回4年ぶりに横須賀芸術劇場で歌い上げてまいりました。この様

な状況の中で、各支部各々活動はなす術もない日々でした。学校行事では、伝統の校内マラソン大会は2月に平塚運動公園で、3月3日には3年間困難な日々を逞しく乗り越えてきた358名の卒業生は、次なるステージに向けて力強く踏み出し、同時に広陵会入会に賛同頂きました。令和2年度に開始された校舎の耐震補強工事は来月には完了し、リニューアルされた校舎で学ぶことができる361名の秦高生が4月7日に誕生いたしました。建学精神の下、勉学に部活動に励む在校生への支援協力は広陵会の総意として寄与してまいります。同窓会活動もコロナ禍の中で悪戦苦闘を余儀なくされましたが、この先、更なる隆盛のために目下の課題である支部組織の在り方等、会員諸氏のご意見を頂きつつ、結びに皆様の更なるご活躍とご健康を祈念申し上げます。挨拶とさせていただきます。

「創立百周年記念事業」に

特段のご協力を

創立百周年準備委員会

桐山 昌幸(高15回)

大正15年(1926)組合立奈珂中学校が大根広畑に認可、同年10月開校式が挙行され、その後改称、変遷を重ね昭和23年4月の学制改革により県立秦野高等学校と改称され今に至っております。組合立中学校から創立百周年を令和8年に迎えるにあたり、既に、学校、同窓会、PTAが一体となつて委員会を組織し、記念誌、学校誌等の編集活動に入っておりますが、この先、記念事業を盛会に成し遂げるためには、同窓会会員へ。つきましては、お届けいたしました「広陵」に振込用紙を同封させていただきますので特段のお力添えの程、伏してお願いいたします。

秦高らしく

校長 高山 康人



令和5年4月1日付で、秦野高等学校第32代校長として着任しました、高山康人（たかやまやすと）と申します。歴史と伝統のある秦高で校長として学校の舵取りをさせていただくことになり、身の引き締まる思いと同時に、在校生たちと歴史の一ページを刻ませていただくことを榮譽に感じています。

同窓会の皆様方におかれましては、日頃より本校の教育活動に対してご支援、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。生徒たちの学びや学校行事、部活動も、ようや

くコロナ禍を乗り越えようとしています。中止または縮小した学校行事や部活動の立て直しには、生徒たちの新たな発想と伝統を融合させながら、全力で取り組んでまいりたいと思います。

本校の伝統である「文武両道」の校訓のもと、学習と部活動の両立に取り組める環境づくりに精一杯励んでまいります。また、性別によらず「質実剛健」に困難を乗り越え、社会で活躍する人材を育むためにも、学校行事を始め日常の学校生活での学びと成長を図ってまいります。

間もなく、百周年を迎えることから、百周年記念行事の検討と準備に入っております。大きな節目となる百周年を同窓生や地域の皆様、在校生ともども盛大にお祝いできますよう準備を進めてまいります。

今後とも同窓会の皆様方のご支援とご指導をいただきながら、コロナ禍からの脱却をはかり、新たな風を吹き込みながら、秦高が秦高らしく、生徒を育み社会へと送り出す学校であり続けたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。

秦高を離任して



猪俣 聡

3年間秦野高校でお世話になりました、第31代校長の猪俣です。在任中、同窓会の皆様にはご指導ご助言を賜りましたことを、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

在任中は、新型コロナウイルス感染拡大により、臨時休校、分散登校、短縮授業や時差通学など、常とは異なる対応を余儀なくされました。しかし生徒たちは、これまでに同窓会の皆様が築かれた「文武両道」の校訓のもと、限られた活動時間の中、様々な活躍をしてくれました。その姿に「これぞ秦高生」と感心しました。

今後も同窓生や地域の方々のご支援のもと、秦野高校の益々の発展と秦高生の更なる活躍を祈念させて頂きたいと思ひます。

令和8年創立百周年記念事業を成功させよう 寄付金活動にご協力を!

総会へのお誘い

同窓会長 桐山昌幸

令和5年度総会は、右記のホテルで、小田原・南足柄支部の皆様にご設営していただきました。会員各位のご参加をお願いします。初夏の箱根を満喫して下さい。

令和5年度 秦野高等学校同窓会

～総会のご案内～

日時 6月29日(木) 11時～

場所 湯本富士屋ホテル

箱根町湯本256-1

TEL (0460) 85-6111

総会日程

A.M.10:20 受付(総会10分前写真撮影)

11:00 総会

■令和4年度事業報告及び
決算報告

■令和5年度事業計画及び
予算審議

■その他

0:30 懇親会(アトラクション)

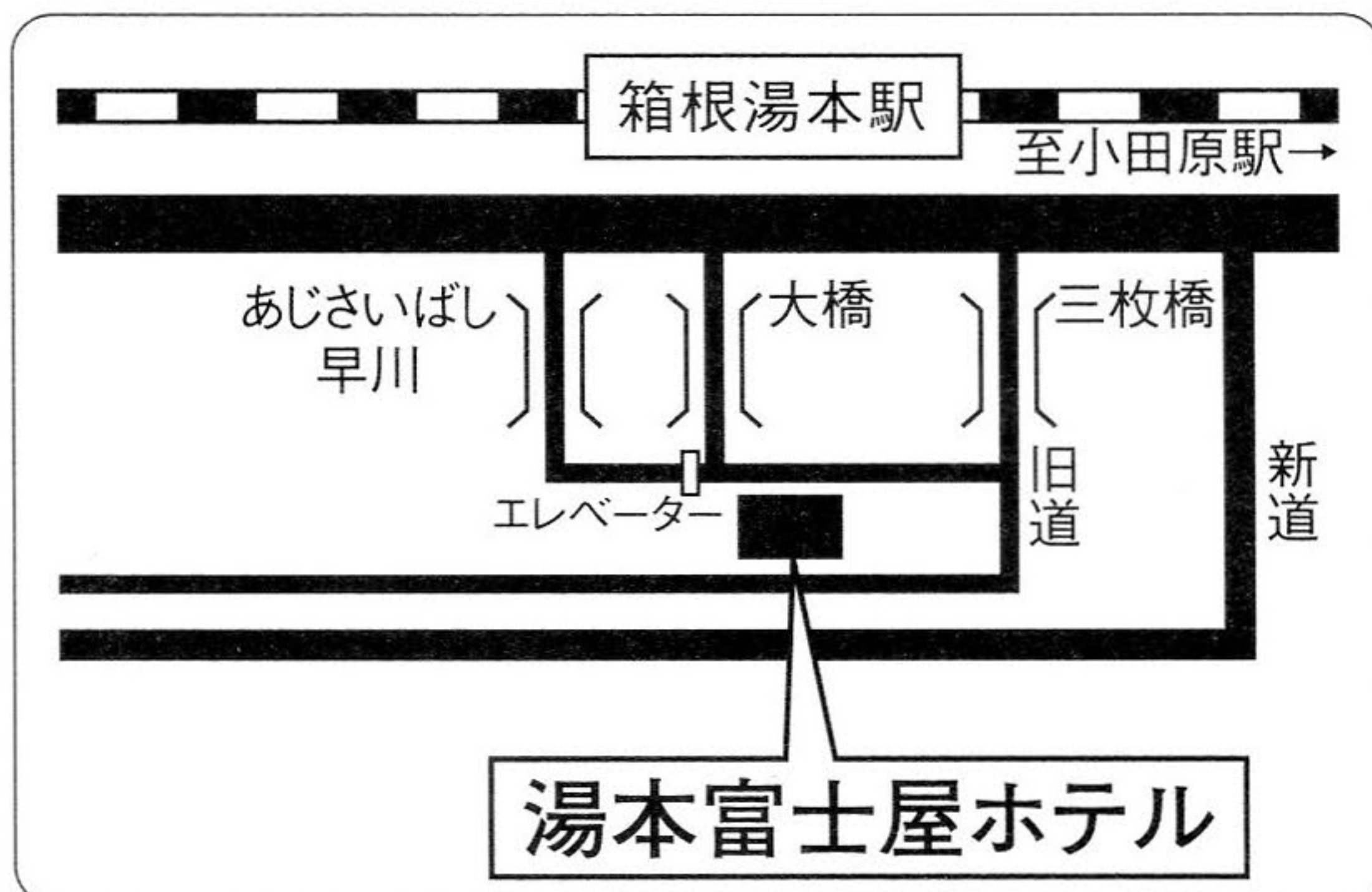
* 総会終了後 懇親会

・会費 6,000円(当日納入)

・着席ビュッフェ方式で自由席です。

・申込 準備の都合上、出席者は「卒業期」と「氏名」を小田原支部 中津川まで
FAX0465-34-8904

・締切 5月末日 支部長は把握可能な範囲でまとめてFAXをお願いします。



会場へのご案内

◆箱根湯本駅より3分、大橋を渡って右側にエレベーターがあります。

表紙スケッチ

恩師小林剛先生

岡村泰成(高6回)

前号で小林剛先生の掲載があり、私は大学が剛先生の後輩。先生が大根中に転任され私の在校1年から3年間、剛先生の授業(当時「ごちゃん」と呼び親しまれていた先生の存在。授業は屋外のスケッチで、必ず謄写版用の藁半紙という白紙にクレパスを使って描出しワイワイ周りを生徒達が囲んで「先生うまいな!」ってのしかからんばかりに大勢で覗き込むもので「先生潰れちゃうじゃないか」って。絵は「ああ描けこう描けではなく自ら描いて観せる」。剛先生の絵に対する想い、描くことの熱意などを学ばせて頂くことで東京藝大に入りました。

*

昭和29年卒業、東京藝術大学
工芸科卒、日本美術家連盟会員、
JA主催『ごはんとお米と私』図
画コンクール審査員。

創立百周年記念
事業寄付者名簿

令和5年2月21日現在

寄付者数 200名

寄付金額 1,292,883円

中12濱田勝彌	高4大野徳造	高11青木 健	高15重田武男	高18柳田邦博	高26升水太一	高34足立正男	高57外屋直枝
中17鈴木陽一郎	高4関 操	高11加藤忠禮	高15山本修平	高19近藤則雄	高27奥川美智雄	高35多田浩行	高58黒川拓人
中18瀬戸靖之	高4河窪 修	高11神保行廣	高16大木信男	高19柳田富夫	高27小島俊英	高35前川藤夫	高63増井秀水
中18高橋栄一	高4清田幸宏	高11陶山周保	高16尾上仁郎	高20相原文雄	高26鳥海 晃	高37飯沼正勝	高63室伏みき
中19梶山三郎	高4黒石勝己	高11清田日出夫	高16添田 健	高20北村 卓	高27高木哲也	高37伊藤浩悦	高63森田雄大
中19野川義雄	高4毛受文夫	高11露木 宏	高16鳥海増雄	高20谷 富雄	高28久保寺忠夫	高37渡邊のぞみ	高66酒井武流
中20井上 毅	高4松本正司	高11松本榮次	高16新倉啓一	高20府川留一	高28栗原敏明	高38益井敬子	高66仲西あゆみ
中20鍛代和彦	高5大津 朗	高12河野通秋	高17青木桂子	高20御嶽和雄	高28須藤正章	高39沖 善之	高66平山 亮
中20高山智博	高5額田幸也	高12関口隆保	高17大木和男	高20山田信雄	高28竹内勝則	高39倉田慎一	高71鈴木瑛子
併1三橋清哉	高6上田喜代子	高12西ヶ谷 浩	高17片野弘行	高21今井利久	高28安池 滋	高40新井秀樹	高71山口裕子
高1高橋 旭	高6酢屋雅介	高12西野 祐	高17川口久雄	高21岡本裕文	高28渡邊清澄	高40西野 浩	高72高瀬朝花
高1宅見義平	高6柳川志公	高12村山鐵郎	高17小泉広澄	高22園田 亨	高29河野治行	高40和才智子	高73物部修大
高2石井淳一	高7畑野公保	高13小早川庸行	高17清水清司	高23相原芳夫	高29小泉幸久	高41本多忠輝	高74新井沙希
高2佐藤清二	高7柳川英也	高13佐々木洋之	高17山口徳造	高23石川 聡	高29鳥海 晃	高42草山修美	高74飯倉晴希
高2村上康雄	高8青木太一	高13高橋昇三	高17吉田信男	高23鎮目正美	高29山口 修	高43松本隆行	高74伊藤愛里
高3大森 弘	高8遠藤清歌	高13中津川福蔵	高18相原栄治	高24加藤和廣	高29吉川憲一	高45栗田一志	高74荻野佳織
高3曾我 昇	高8小島里志	高13福田二郎	高18安達 清	高24久保寺常雄	高31田中和久	高46都賀義浩	高74草山慶一
高3高橋 博	高8柳川正明	高13古谷嘉久	高18飯田敏一	高24菅間清光	高31真柄竜太郎	高47小沢将洋	高74倉田智徳
高3曾我 昇	高9片野 勉	高14安居院輝雄	高18池田友司	高25守屋 忠	高31山口剛志	高48早坂一王	高74真壁百子
高4上原 仁	高9小林和弘	高14旭谷祥江	高18石井史朗	高25柳田 悟	高32梅原佳代	高50日置隆晋	高74渡邊拓実

齋藤麟太郎

寺口美由紀

ミナガワシゲ

【旧職員】

池田千恵子

渋谷壽男

岩田新一

羽生晴男

小池ひろ子

森谷準司

佐々木 司

百周年記念事業への寄付金

活動へのご協力ありがとうございます。
ざいます。

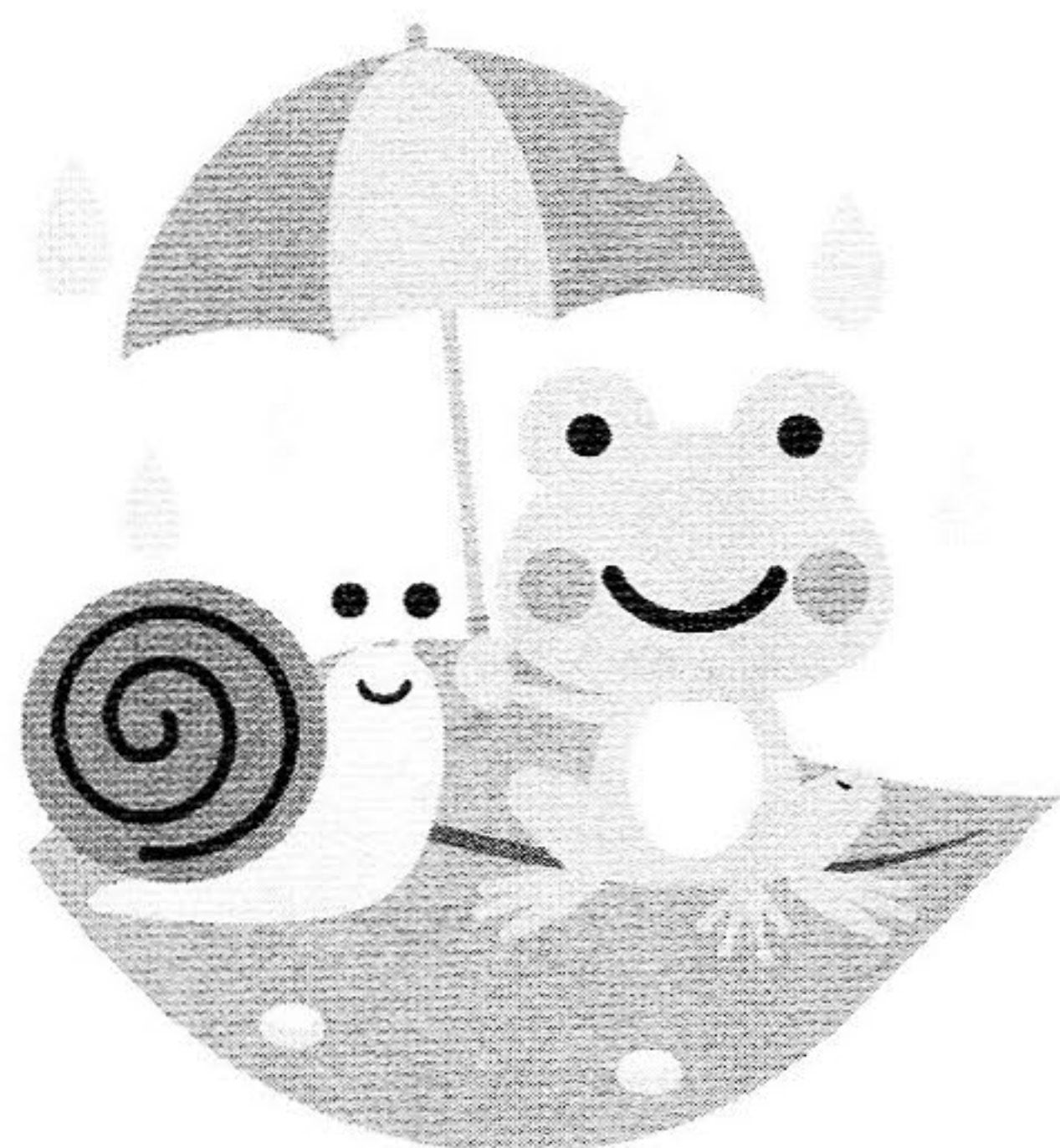
目標額に対して、まだ到達には遠いようで、皆様方の一層のご協力をお願いします。

百周年準備委員会は今年度いよいよ実行委員会を学校、PTA、同窓会の3者で立ち上げるよう進めているところです。

秦野高校創立からの大きな節目となる百周年（草創140年は県下で最も古い学校）を成功させるためにも皆様のご理解のうえ、寄付金活動にご協力をお願いする次第です。

令和5年度 事業計画(案)

- 1 総会・幹事会・役員会・各委員会の開催
- 2 会報「広陵」第52号の発行・配布、ホームページの管理・運営
- 3 第18回 青春かながわ校歌祭への参加
令和5年10月21日(土)
神奈川県立青少年センター
〈練習日時〉
8月20日(日) 10時～12時
9月10日(日) 10時～12時
10月1日(日) 10時～12時
〈練習場所〉 秦野高等学校視聴覚室
- 4 支部育成と同期会支援
- 5 在校生への活動支援
部活動助成、全国大会等への出場支援
- 6 秦野・伊勢原地区同窓会連絡協議会への参加



令和4年度 事業報告

- 1 総会
6月25日(土)
・会場：ホテルサンライフガーデン
幹事支部：平塚支部 出席者60人
・令和3年度事業報告及び決算の承認
・令和4年度事業計画(案)及び予算(案)の承認
・賛成拍手多数をもって可決
- 2 役員会
4月3日(日)
・令和3年度会計監査
4月17日(日)
・第17回青春かながわ校歌祭への参加について
・同窓会総会開催日程について
・令和3年度事業報告及び決算
・令和4年度事業計画(案)及び予算(案)
・令和3年度全国大会支援金収支決算報告
- 11月20日(日)
・第17回青春かながわ校歌祭への参加について(報告)
・次回総会幹事支部の確認について
- 3月26日(日)
・第18回青春かながわ校歌祭について
・同窓会総会開催日程について
・令和4年度事業報告及び決算
・令和5年度事業計画(案)及び予算(案)
・令和4年度全国大会支援金収支決算報告
- 3 常任幹事会
4月17日(日)
・令和3年度事業報告及び決算
・令和4年度事業計画(案)及び予算(案)
・令和3年度全国大会支援金収支決算報告
- 4 会報「広陵」51号発行・配布
- 5 支部育成
・6支部に育成助成
- 6 同期会支援 実績なし
- 7 第17回青春かながわ校歌祭
10月15日(土) ※よこすか芸術劇場
秦野高等学校45人参加
- 8 第37回秦野伊勢原地区同窓会連絡協議会
・新型コロナウイルス感染拡大のため中止
- 9 学校創立100周年記念事業
・3月18日(土) 第12回準備委員会
- 10 在校生活動支援
・校内マラソン大会 記念湯呑茶碗贈呈
・部活動支援
・全国大会等出場支援
- 11 学校行事
・4月6日(水) 第77回入学式(祝電)
・8月29日(月) 同窓会入会の説明会
・1月31日(火) 同窓会入会学年幹事説明会
・2月7日(火) 第77回校内マラソン大会
・3月3日(金) 第75回卒業証書授与式

令和4年度決算・令和5年度予算(案)

◎収入の部 自 令和4年4月1日 自 令和5年4月1日 単位 円
至 令和5年3月31日 至 令和6年3月31日

項 目	令和4年度予算額	令和4年度決算額	令和5年度予算額	摘 要
終 身 会 費	3,600,000	3,590,000	3,600,000	新会員 既存会員
預 金 利 息	400	387	400	預金利息
雑 収 入	90,000	90,000	90,000	広陵広告協力金
収 入 合 計	3,690,400	3,680,387	3,690,400	
前 年 度 繰 越 金	5,349,189	5,349,189	5,037,802	
総 合 計	9,039,589	9,029,576	8,728,202	

◎支出の部 単位 円

項 目	令和4年度予算額	令和4年度決算額	令和5年度予算額	摘 要
会議費	260,000	259,465	285,000	
総会費	225,000	225,000	250,000	総会開催諸費用
役員会議費	35,000	34,465	35,000	役員会,常任委員会
事業費	3,631,000	3,673,959	3,660,440	
支部育成費・活動費	240,000	240,000	240,000	6支部
同期会育成費	30,000	0	30,000	同期会助成
在校生活動振興費	701,000	800,440	7001,440	部活動・教育活動支援
会報発行費	2,350,000	2,378,804	2,400,000	編集費、印刷、送料、会議費
校歌祭参加費	240,000	188,223	220,000	参加費、バス代、飲物代、会議交通費
ホームページ運営費	70,000	66,492	70,000	ホームページ運営費
慶弔費	20,000	0	20,000	
事務費	70,000	37,686	70,000	
事務局費	50,000	27,882	50,000	事務消耗品代
通信費	15,000	7,304	15,000	郵送費
印刷費	5,000	2,500	5,000	会議資料コピー代
特 別 払 い 出 し	1,010,000	0	1,010,000	百周年記念行事積み立て
予 備 費	100,000	20,664	100,000	
支 出 合 計	5,091,000	3,991,774	5,145,440	
次 年 度 繰 越 金	3,948,589	5,037,802	3,582,762	
総 合 計	9,039,589	9,029,576	8,728,202	

(決算予備費は次年度繰越金になります) 令和4年度会計収支決算について、正確・公正に処理されていることを認めます。

同窓会積立金残高 31,500,000 会計監査 小島俊英 竹内克則
令和5年4月3日



☎0120-41-0463

(営)11:00~14:00
17:00~21:30(L.O.21:00)

秦野市尾尻932-14 📞30台完備

秦野 一の屋 検索

「青春かながわ校歌祭」

校歌祭実行委員長 福田三郎（高13回）

会場での受付が始まって、舞台の幕が開くまでは、校歌祭の実施の可否が揺れていた。10月15日の12時30分にファンファーレが響き、開会のセレモニーが始まった。第17回目の青春かながわ校歌祭の実現が実感された。

計画段階からイベント実現までにこれ程、紆余曲折した事例は他に無い。高校生を含む一千余人の大人が一堂に会して、校歌を歌うのだから、コロナ感染対策やその条件が刻々と変容するのもしやむを得ない事態であった。とにかく、我が同窓会が出演できたことを喜びたい。

在校生の参加は、ギリギリまで保留して、マスク着用で3回練習日を確保、コロナ配慮で結果的に楽器もチアリーダーも参加とり止め。惜しみつつOBだけの校歌、応援歌の演奏を

頑張った。本番の会場は横須賀。交通の便が悪いが、芸術劇場の構造、ステージや観客席の立派さに感動し、その舞台上で歌え愉悦を感じた。

また、秦野支部が大型バスをチャーターしてくれて、希望者が同乗バスで参加できたので、生徒なしで40余名の出演。おまけに校歌祭打上げまで実現したとか。コロナ時代の大きな



思い出と記憶されるであろう。

令和5年度の第18回校歌祭は、横浜の県立青少年センターで、10月21日（土）開催が決定した。母校の創立百周年に向けて、伝統校の校歌を共に高らかに歌い続けましょう。



第18回青春かながわ校歌祭の予定

○日時 10月21日（土）

○会場 神奈川県立青少年センター

○練習日時

① 8月20日（日） 10時～正午

② 9月10日（日） 同

③ 10月1日（日） 同

○練習場所

いずれも秦野高校視聴覚室にて校歌・応援歌を元気に歌います。皆さん奮っての参加をお願いします。

本部だより 支部

本部

「コロナ解禁」間近か

3年にも及ぶ新型コロナウイルス感染症も令和5年3月13日以降は、マスク着脱は個人の判断に委ねられるなど徐々に緩和され、収束に向かっていきます。

2年間書面議決での総会から会員が一堂に会した総会が、平塚支部の協力により実施でき、青春かながわ校歌祭は4年ぶりに開催され、思い切って大声で校歌、応援歌を斉唱することができました。

さて、「広陵」51号でお願いした令和8年に迎える秦野高等学校創立百周年記念事業への寄付金を頂いている所ですが、未だ目標額に及びません。

本年も引き続きお願いしたく、「広陵」に振込用紙を同封させていただきました。

今後とも同窓会活動へのご支援ご協力を

よろしくお願い申し上げます。

同窓会事務局長

飯田 保（高20回）

秦野支部

年中行事への参画

支部長に就任して早や3年目になりました。一部役員の交代はありましたが盤石な体制を引き継いで支部活動は順調に推移しています。とは言うものの懸案事項も垣間見えています。

大きな年中行事は年次総会と青春かながわ校歌祭です。校歌祭は実行委員会が中心となり広く同窓会に呼びかけて実施されて来ましたが、第14回は台風で中止になり、15回16回はコロナ禍で中止となりました。

今年の第17回は横須賀で開催されましたが参加者が三十数名と少ない中で創意工夫をして秦高らしい演技ができました。

今年も総会や校歌祭に積極的に参画し微力を尽くします。

草山忠文（高14回）

伊勢原支部

支部の現状と今後の運営について

令和4年度もコロナ禍の不安な状況から支部総会は3年連続の書面会議とし、秋に予定していた研修・親睦旅行についても中止をせざるを得ませんでした。

ただし、平塚支部の努力により本部総会が開催されるとのことで、伊勢原支部としても役員の参加を募り、久しぶりの同窓会の雰囲気を楽しむことができました。

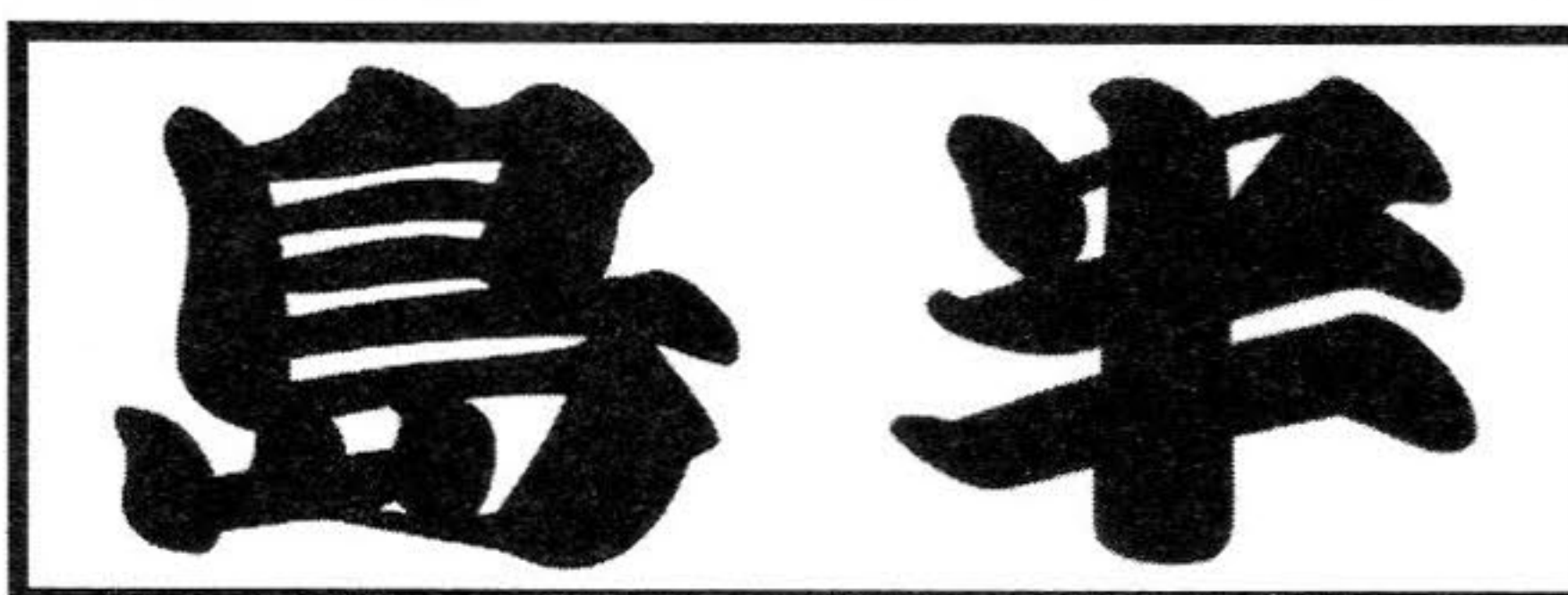
また、総会終了後には、親睦を兼ねての昼食会を催すことができ、支部としての交流を図ることもできました。

このような状況から、コロナ禍で思うような支部の事業も開催できず、また支部役員の高齢化も進み支部運営に大きな支障をきしています。

こうしたことから、行動制限も緩和される見通しの中、支部役員の育成や従来どおりの事業の円滑な運営に向けて取り組んでいきたいと思っています。

平田真一（高28回）

地 に 足 つ け て。 創 業 明 治 十 年



本社：神奈川県秦野市鈴張町5-30 ☎(0463)82-2211 東京支店：東京都港区南青山2-2-15-540 ☎(03)6447-1925
ホームページ <http://shimahan.co.jp/>

平塚支部

同窓会総会の開催に向けて

令和4年度は平塚支部が秦野高等学校同窓会総会の会場となることから、前年度から総会の開催方法などを検討してきました。そして、6月11日に3年ぶりに支部の役員会兼総会を開催しました。

支部総会は懇親会を中止としたため7人の参加と寂しいものとなりました。またこの2年間は総会も開催していないことから「事業報告」「収支決算報告」は簡素に令和4年度の「事業計画(案)」「収支予算(案)」は同窓会開催に向けた経過を説明し承認されました。そして「本部総会の今後の予定」では当日の運営方法などを話し合いました。また「第17回青春かながわ校歌祭」について情報提供を行い議事の部を終了しました。その後参加者で近況報告や意見交換を行い、今後の同窓会総会が成功裏に開催されることを願いつつ散会しました。

小川喜久雄(高28回)

小田原支部

総会は箱根湯本で

お待ちしています

早く、平常の生活ができますことを、切に願っています。

今年は小田原地区で開催される予定の定期総会が組まれています。

現在、前回同様、箱根湯本にある「富士屋ホテル」で実施できるよう、当支部の役員が一丸となって、準備を進めている所です。コロナ禍やインフルエンザ等の影響で行動にブレーキがかかってしまっていますができる範囲で開催できますことを、願っています。会員皆様のさらなるご活躍を祈ります。

安藤誠二(高14回)

南足柄支部

コロナと共に生きる

令和4年6月25日に行われた秦高同窓会に南足柄支部から2名が参加しました。

7月28日の南足柄支部懇談会では、その

報告に続いて一人ひとりに近況報告をしてもらいました。その概略を紹介します。

中原茅秋氏(高4回)が常任顧問をしている「毎日書道展」が大変話題になり、コロナ禍が収束したらみんなで行きたいとの意見が出ました。また関操氏(高4回)の第4回「ビデオ小劇場」の話、卒寿を過ぎてもいろいろな役員をしている人の話、キウイ栽培の話、郷土史研究会機関誌の紹介など、人生百年時代の参考になる貴重な話が聞けてよかったです。

重田武男(高15回)

東京支部

支部の存続を…

東京支部発足五十余年となりました。現在、支部は発足以来の危機にあります。東京在住の皆様の中で、我れと思わん方は本部の事務局に申し出てください。よろしく願います。

長沢孝治(高13回)

湘南減災科学研究所

令和元年春の叙勲 瑞宝小綬章受章

危機管理アドバイザー 出縄高昭(高19回)

(防災・防犯・危機管理対策を官公庁、会社、病院、学校、自治会等で講話)

事務所 〒254-0901 平塚市纏 340-3
電話 080-5175-4146

在職中の思い出

校歌の歌詞を探究して

武井 勝(教頭)

(令和4年4月～令和5年3月)

2022(令和4)年4月から2023(令和5)年3月まで、1年間という短い期間でしたが、秦野高校に大変お世話になりました。

私が秦野高校で過ごしたのは4回目でした。1度目は1978(昭和53)年4月から1981(昭和56)年3月まで生徒として在籍しました。当時は男子校であった名残からか、

男女比は男子7割強・女子3割弱でした。

私は、1・2年次は男子クラス、3年次に文系を選んでやっと男女クラスとなりました。1・2年次は「男クラ」ということで、授業中や校内外で多くの先生方に迷惑をかけたことしか覚えていません。2度目は1984(昭和59)年6月に教育実習で、3度目は1985(昭和60)年4月から1986(昭和61)年3月までの1年間、非常勤講師としてお世話になりました。そして、4度目

となる昨年度は教えることはなかったのですが、授業や部活動、行事などで「秦高生」が真面目に本気で取り組んでいる姿を見ると、自分の高校生活が恥ずかしく感じました。さて、昨年度一番の思い出は、久しぶりに校歌や第一・二応援歌に触れることができたことです。その中で気になったことは、校歌1番の歌詞にある「努力重ねる行手には桂の薫る島のあり」の「桂の薫る島」とはこのことか、ということです。OB・OGの間でも「江の島ではないか」、「いや、個別の島ではなく抽象的な言葉ではないか」など様々な説があるそうです。

私は、「桂の薫る島」は1888(明治21)年から1945(昭和20)年12月1日まで海軍兵学校があった「江田島」(広島県呉市)ではないかと考えました。その根拠は以下のとおりです。第一に、校歌が制定された1931(昭和6年)には満州事変が勃発し、日本全体が戦争モードになっていく時期であること。第二に、作詞した葛原しげる氏が広島県安那郡八尋村(広島県福山市神辺町八尋)の生まれであること。第三に、神

奈川県からも湘南中、横須賀中、横浜一中等などから海軍兵学校を目指す生徒が多くおり、本校(当時は「奈珂中学校」)からも入学させたいという思いが、「努力重ねる行手には」という歌詞とも合致すること。

以上のことから、「桂の薫る島」は「江田島」であるという説を考えました。しかし、例えば、当時の「江田島」に「桂」が植えられていたのかなどの課題が多くあり、今後も探究を深めていきます。

また、一同窓生として秦野高校の発展のために、できる限りの支援をしていきたいと思しますので、何卒よろしくお願いいたします。

二度目の秦野高校

水上 慶太(数学)

(平成24年4月～令和5年3月)

自分が卒業して以来10年振りに足を踏み入れる秦野高校。そして、職員として過ごした10年間。学生の時とは違う視点から見る秦野高校は様々なことを教えてくれました。毎日学んでいた教室で教えることに感じる違和感。極力近づきたくなかった職員室

介護老人保健施設

社会福祉法人 恩賜財団 湘南苑 済生会

顧問 土屋 克巳 (高28回)

〒254-0046 神奈川県平塚市立野町37-1
電話(0463)31-0520(代) FAX(0463)31-3177

で過ごすことに感じる違和感。体育準備室は相変わらず気軽に入ることができない場所であり、準備室のドアをノックする直前に感じる、学生時代と変わらない緊張感。そんな10年間で強く印象に残ったことは文武両道を体現し、何事にも真剣に取り組む秦野高校生の姿でした。そして、その姿から、教員としてどのように生徒に接するべきか、どのようにして生徒をサポートしていくかということ学ばせてもらいました。

秦野高校に赴任する以前の自分を振り返ってみると、「生徒のために」と言いながら目の前の石をどけ、レールを敷き、お膳立てをした状態で走らせてあげていた気がします。しかし、秦野高校の生徒を見ているうちに、教員がすべきことは道を舗装することではなく、まだ見ぬ道を切り拓く方法を考えさせ、その姿を見守りながらサポートすることなのではないかと思うようになりました。そして、その姿は自分が高校時代に教わった先生方の姿そのものではないかと気づくことができました。

今の高校生が社会に出る頃に求められる

ものは、周囲の人間と話し合いながら、様々な分野を横断しながら、新しい物事や価値観を創造していくことです。そんな大人になれるように見守りたいと思うのですが、「見守る」ということは、ややもすると放任していることになりかねないので、その線引きを大事にしながら、次の学校でも頑張っていきたいと思います。これからは秦野高校職員としてではなく、一卒業生として秦野高校のさらなる活躍を期待したいと思います。

10年間ありがとうございました。

母校の近況と 生徒の様子

校内幹事

相原 芳夫(高23回)

前年度、そして今年度に向けての本校の状況を一言で述べるとすれば、これまでの通常の形に戻りつつあるといえます。校舎の耐震工事(昨年度末終了)やコロナ禍によつて制限されていた教育活動が徐々に本来の形で実施可能になり、今年度からはさ

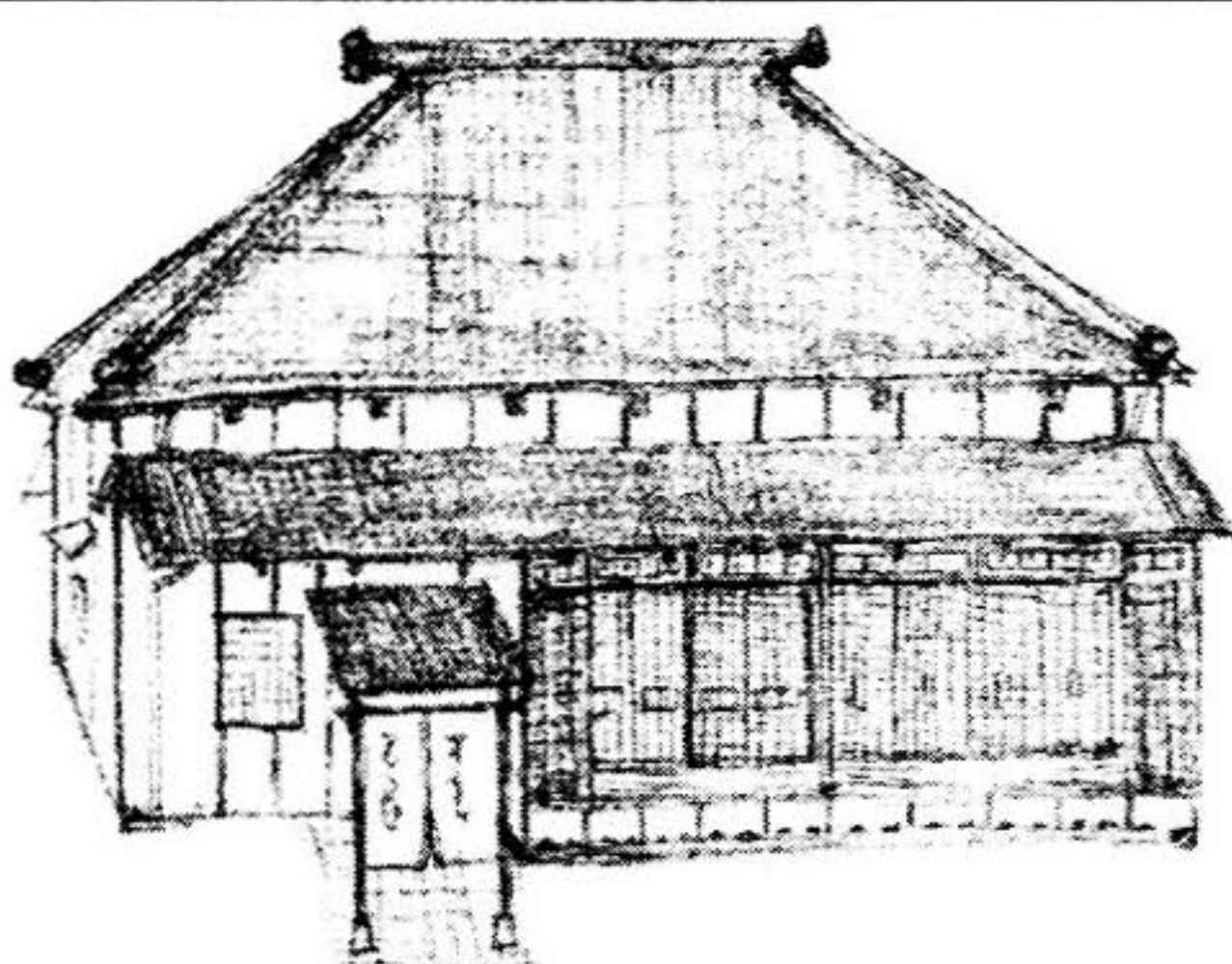
らに様々なことが制約なく行われていくと思われれます。

昨年度は、体育祭や小文化祭、3泊4日の修学旅行、平塚総合運動公園での校内マラソン大会など様々な行事が従来に近い形で行われました。また、入学式からマスクを付け、3年間外せなかった昨年度の卒業生(高75回)は、卒業式で初めてマスクを外した姿で臨むことができ、万感の思いで別れを惜しんでいました。

今年度からは、約3年ぶりにグラウンドのプレハブ校舎もなくなり、体育や学校行事、部活動などで広々とした形で使用することができ、コロナ禍によつて、黙食をしなければならなかった昼食も制限が緩和されつつあります。

昨年度も、活動時間や施設の制限に負けず、ソフトテニス部や弓道部が全国大会に出場しました。他の部活動もそれぞれ優秀な成績を収め、特に卓球部は女子の団体戦で初となる関東大会出場という結果を残しました。

▼13ページへ続く



古民家で旬を味わう
関東三大稲荷神社 白笹稲荷神社そば

白笹うどん

休日 お正月3が日・不定休有
秦野市今泉1039-6
TEL. 0463-83-7253

広畑が丘
空はれて

秦中・秦高 に想う

ことだま
言霊に導かれて

吉田 信男（旧姓武井・高17）

(1) きっかけ

私が高校3年生の秋、アジア初のオリンピックが東京で開催されました。

大学受験を控えていたにも拘わらず、その時の感動は60年経った今でも鮮明に覚えています。当時、我々高校生にも観戦チケットの配布があり、在校生の約半数が様々な大会会場へ応援観戦に行きました。

私は、陸上競技最終日の国立競技場でマ

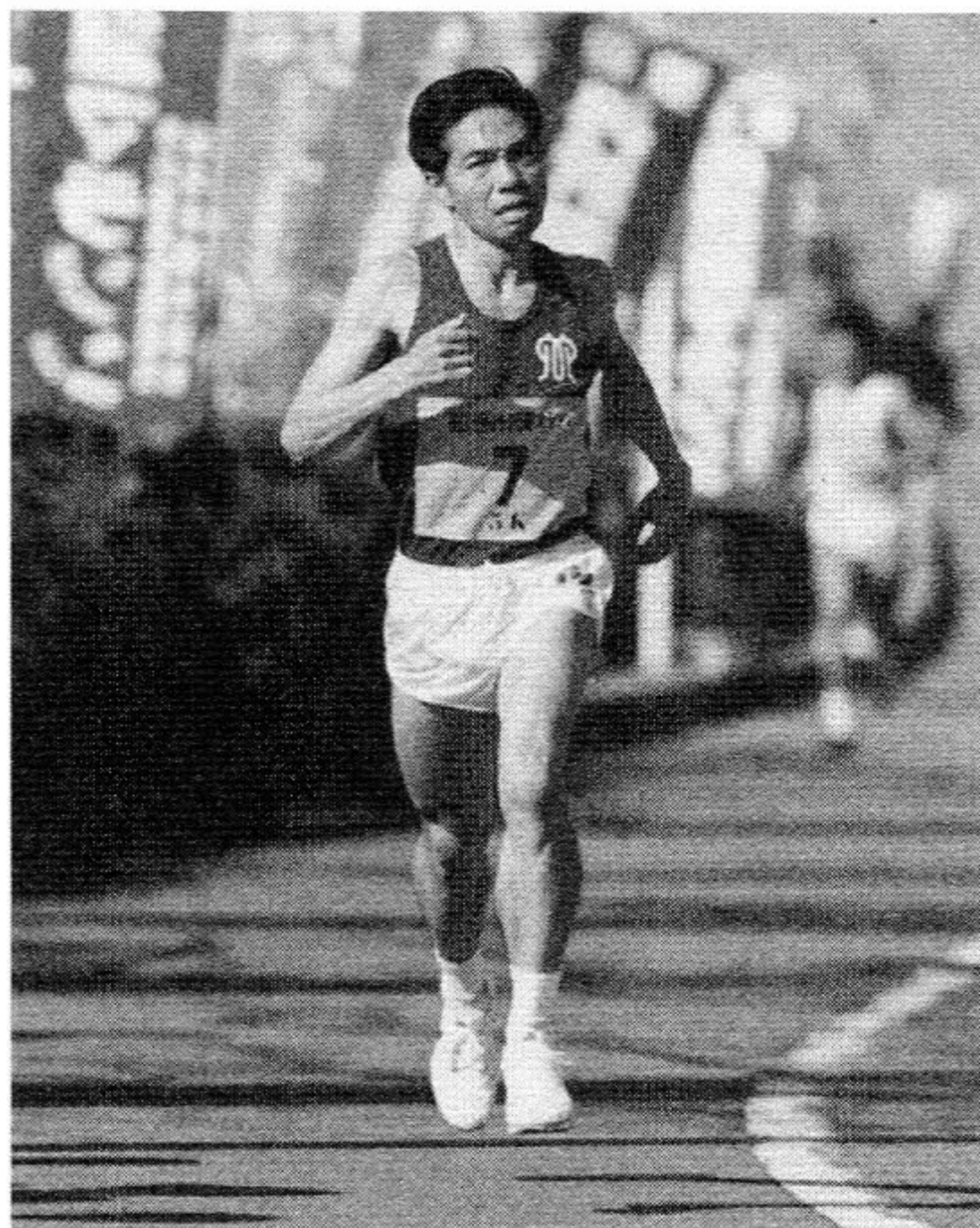
ラソンのアベベ（エチオピア）の快走や日本の円谷選手の惜敗を目撃しました。

その秋の校内マラソンで予想外の好成績（学年4位）をとり、大学に合格したら「陸上をやるう」と考えはじめました。そして、それを決心させたのは恩師でもある込山先生（高9回の先輩）から掛けられた言葉『お前みたい是一所懸命走る生徒は見たことない』との言葉でした。

大学の教育学部に進み、迷わず陸上部に入りました。4年間でどこまで記録を伸ばせるかを目標に、がむしゃらに取り組み始めました。初レースは最下位でしたが、日々の練習で着実に走力の向上を実感していたのでくじけませんでした。

秋頃から次第に記録も伸び出しただけでなく、秦高卒の先・後輩からも大いに刺激を受けました。

（当時の関東ICでは横国大の石原さん（16回）が400mハードル、1600mリレーで、日大の梶山君（17回）が1600mリレー、横国大の飯田君（18回）が槍投で2連覇、立教大の鈴木君（18回）



が5000m、10000mで2種目優勝し、石井隆士君（25回）が出現するまで、最も秦高卒が輝いた時代。私も刺激を受け、4年生の時3000m障害で5位入賞ができました。

(2) 陸上指導者として

大学4年間で完全燃焼のつもりでしたが、記録の向上につれ「もっと速く走ってみたい」と欲が湧き、教員となってからも走り続けました。通勤ランは勿論のこと、生徒と一緒に走り、跳び、投げ、彼らが自己ベストを更新した時の喜びの笑顔を力に替えて指導に当たりました。

秦野市立本町中から山北高校に転任した

地域の健康を願って SINCE1905



佐野十全堂薬局

〒257-0035 神奈川県秦野市本町2-5-6

代表電話 (0463) 81-0031

のが契機で、目標も県大会から全国大会へと拡がりました。

昭和49年から53年までは関東大会出場まででしたが、54年に男女2名が全国高校総体(IH)に出場できたのが転換点になりました。更に56年横浜開催のIHが大躍進につながり、翌年鹿児島で本県初の女子総合優勝を収めました。

その秋の県新人大会、58年の県総体南関東と続けて男子総合優勝を果たし、県教委に転出する63年まで、全国・関東・県と駅伝も含めて好成績を収めることができました。

指導で出会った生徒の中に、中学時代は駅伝登録7人になったものの、スピードがなかったため、正選手に選ばれず、高校1年時も上級生が速くて、駅伝メンバーから外れました。しかし、彼の努力ぶりは素晴らしく『君の努力は素晴らしい。今の姿勢で行けば3年生になったら県内1位になれると思うよ』と励ましました。私もそうであつたように、努力を続けた彼は3年で迎えた秋田IHで日本一になつてしまった。また、高校時代10回日本新

記録を樹立した生徒は、インタビューの最後に『先生のお陰で云々』といつも答えていました。この様に生徒との出会いの中で、その人の可能性を引き出すきっかけになる言葉をかけていたのかなと思います。それは、私が3歳の時、ポリオを患ったため、小学校時代の徒競走は、いつも最下位で、昭和30年の神奈川国体の時に知った日本記録の立幅跳や走幅跳で、私の5倍も跳ぶことにびっくりしました。だから私より優れている生徒達を励まざるをえなかったのです。

次号に続く

【主な陸協役歴】

神奈川県陸上競技協会監事(現在)

元神奈川陸協強化委員長

足柄上郡陸上競技協会会長

松田町体育協会会長

【主な表彰】

平沼賞(日本陸連より昭和63年)

秩父宮章(日本陸連に貢献平成23年)

高体連優秀監督賞昭和57年IH優勝)

県体協監督賞(かながわ国体天皇・皇后

杯獲得平成11年)

▼11ページから続く

不便、不都合であつても、与えられた環境の中であきらめずに取り組む秦高生の底力を見た思いがします。今年度もさらに改善した環境のもとで、精一杯学習や学校行事、部活動に励んでいってほしいと思います。

校内幹事

河野 治行(高29回)

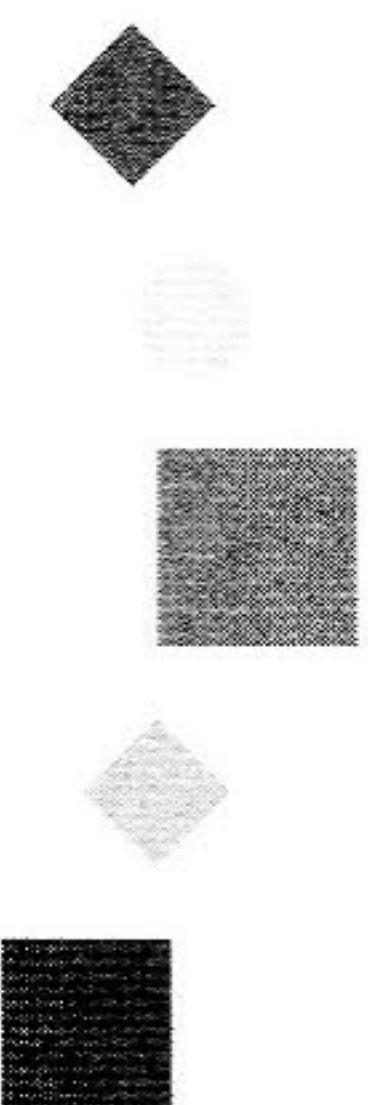
本校では、昨年度より耐震補強工事が開始され、教室の移動やグラウンドの使用制限などが実施され、コロナ禍と併せて校舎の使用制限もあり、皆様には多くの不都合をおかけいたしております。

このような中、平成28年度より「ICT利活用授業研究推進校」の指定を受け、授業や日常業務で積極的なICTの取り入れに取り組んでまいりました。そのおりに同窓会やPTAの方々から多くのご協力をいただいたところです。お陰様でコロナ禍でもリモート教育等含めてスムー

ズに対応でき、生徒達の対応能力に目を見張るものを感じています。次年度からは、新しく「神奈川県高校STEAM教育推進校」の指定を受け、一層の発展を目指して取り組んで行くこととなっております。

生徒達は日常活動において、各種行事や大会の中止、活動時間や規模等々の制限がありました。ソフトテニス、陸上競技部、弓道部や弦楽合奏部、校内行事など、多くの部活動で活躍してくれました。また、恒例のマラソン大会もコロナ禍で縮小はしましたが、南平橋側の田園地帯で実施することができ、マラソン大会への皆様の想いが伝わったように感じています。

次年度以降は、コロナ禍も終息し、一層活躍してくれることと期待しております。



部活動の近況報告

先輩方の思いを受け継ぎ大活躍

女子テニス部
高橋 裕貴

私が顧問となったのはコロナウィルスの影響でさまざまな制限や自粛を強いられるようになった年度でした。令和3年度までは目標としていた大会が中止になることもあり、令和2年度は3年生引退試合が中止となりました。非常に残念な思いをした生徒を前に何もできませんでした。そんな状況でも部員たちはできる努力を惜しまず、その姿勢は現在の部員にも見事に継承されています。現在は3年生4人、2年生3人と少人数ながら「文武両道」「質実剛健」「凡事徹底」を胸に令和4年度関東予選では団体ベスト16、県新人戦では団体8を達成し、北相地区大会では夏と冬の大会を共に団体の優勝しました。

試合をするたびに練習の成果と今後の課題を確認し、自分と向き合い、周りと協力しながら大きく成長していく部員の姿をみてとても励みになりました。私は秦野高校を離れますが、今後も女子テニス部員の活躍を大きく期待しています。

これからもご支援のほど、よろしく
お願いいたします。

初めての関東大会出場

卓球部
片岡 賢吾

令和4年度県新人大会女子団体の部において五位に入賞し、関東大会に出場することができました。私が部活動運営で意識していることは「顧問がいなくても成立するチーム」にすることです。教員として様々な仕事がある中、部活だけ行う訳にはいきません。秦高に永遠にいれるわけでもありません。

私自身長く卓球をしてきた身でもあるため、技術指導は当然行いますが、それ以上に自分で考え、お互いにアドバイスをしあい、顧問なしで成り立つチームにしてほしいと言い続けてきました。

県大会の順位決定リーグ、そして関東大会。私は特に大きなことはしていません。いつも通り選手が自分の力で頑張ってくれました。感動をありがとうございます。

感謝

ソフトテニス部
藤上 大輔

皆様には、日頃から多大なるご支援、ご声援をいただき感謝しております。

令和4年度の現状を報告させていただきました。今年度は、関東大会県予選会団体の部で46年ぶりに準優勝することができました。個人戦でも1ペア関東大会に出場することができ、団体戦でも12年ぶりに出場することができました。また、高校総体県予選では、2

保険のことなら
 有限会社 三恵保険事務所
代表取締役 大屋 崇 (高44回)

〒257-0031 秦野市曾屋1174-14

TEL.0463-85-3366 MAIL.info@sankeihoken.com

ペアが個人戦で予選を通過し、全国大会に出場することができました。団体戦では、全国大会まであと一步の準優勝でしたが、こちらも10年ぶりの準優勝となりました。県選手権シングルの部では6年ぶりに優勝することができ、来年度の全国大会出場を決めることができました。

県立高校で部活動を継続することがむずかしい世の中になってきました。

その中でもなんとか子供たちがやりたいと思える環境を我々大人が守っていかうという気持ちだけでここまでやってきました。その思いに賛同していただける方々のおかげで、これだけの実績を築くことができました。本当にありがとうございます。これからも変わらずご支援、ご声援をいただけるように頑張りたいと思います。

5月4日に開催しました

弦楽合奏部
齊藤 朋子

令和4年度の定期演奏会は、ある王国に音楽を取り戻すというストーリー

仕立てのプログラムに挑戦しました。

その後、高総文祭全国大会に県合同オーケストラの一員として参加し、更に小文化祭や大根公民館まつり、学校説明会でも演奏の機会をいただきました。来年度の全国大会に向けたオーディションにも1年生13人全員が合格し、その他、高文連の演奏会やソロコンサート、広畑小への動画プレゼント等様々な活動を通して技術や感性を磨いています。

今年度の定期演奏会は、5月4日秦野市本町公民館で開催しました。弦楽合奏の心地よさを皆様と共有できました。

時代が求めるアート人材の宝庫！

美術部
森 千帆

現在、1年生6名、2年生5名で活動しています。コロナ禍以前、各部員で文化祭等に向けて仕上げた作品を各種展示会に出品していましたが、展示会や文化祭等が中止・縮小となったため、この流れが一度止まってしまいま

した。しかし、今年度は本校美術部が多くの受賞者を出してきた「秦野市美術展」(6月)や「秦野市展」(11月)に数名出品し、「次世代賞」「教育委員会賞」を受賞することができました。直近では2年生部員が協力して修学旅行文集のデザイン・挿絵を担当しました。来年度からは活動の幅をさらに広げ、校内外でチャレンジしていこうと部長を筆頭にやる気に燃えています。内輪での作品評価に留まるにはあまりにもつたない才能と個性の宝庫です。ので今後、より多くの人に部員の作品をご覧いただく機会を増やしていきたいと思っています。その批評を得て部員もさらに成長し、技術的向上・進路選択の幅も広がると信じております。



土地・建物・売買・仲介
ALL COMER
神奈川県知事免許(6)第20905号

有限会社 **オール・カマー**

代表 佐々木 基 (高37回)

☎0463 92-0015 伊勢原市田中543-5
FAX.0463-92-4993

URL <http://www.allcomer.jp>

寸描

母校2022年度

—令和4年度の進路状況と 今後の取り組み—

キャリア教育グループ 今井 公彦

今春の志願者数は、全体でみると前年度比99%の15万1,225人。方式別でみると、一般方式は前年度比98%の93万4,425人。共通テスト利用方式は前年度比100%の56万6,800人でした。

上位大学でみると「青山学院」前年度比92%、「学習院」前年度比109%、「立教」前年度比93%、「早稲田」97%などで

した。また、学部別の志願状況は、「人文科学系」前年度比97%、「社会科学系」99%、「理・工・農学系」99%、「医療系」103%となっています。最後の「医療系」が最も増加する傾向となりました。

これらの環境のもと本校の令和4年度卒業生358名の進路状況をみると、4年制大学322名(内国公立25名)、短期大学3名、大学校および専門学校14名、就職1名、進学準備18名となっています。

今年の特徴としては、昨年に続き国公立大学への志望者が多かったことがあげられます。合格者も昨年にはやや及ばないものの25名に達しました。

(昨年29名、一昨年9名) また受験生に人気のGMARCH以上の難関大も延べ合格数172名(昨年146、一昨年96)にのびりました。文部科学省施策の大学入学定員厳格化で合格者が絞られる状況になって以来最も多くの合格を出しました。一方、指定校推薦による進学者は69名、公募制推薦や総合型(旧AO)での進学者は39名とここ数年の傾

向からみてもかなり少ない数となりました。これも、「安易に妥協せず自分の行きたい大学を目指して最後まで挑戦せよ」という進路指導の結果だと考えています。

令和5年度の受験生が受験する2024年入試に関しては18歳人口が急減する年となっています。一連の少子化傾向の中でもとりわけ18歳人口が少なく、全国的な大学受験者数も減少するものと思われます。こうした状況の中、これまで以上に第一志望にこだわらせ、「自分の行きたい大学を目指す」という最後まで諦めない姿勢を貫き通す指導を心がけていきたいと思っています。また、昨年度より大幅に増加した国公立大学合格ですが、今後も生徒に対し、国公立大学の魅力を発信し続け、自分に合った志望校が選択できるよう、様々な機会を通して後押ししたいと考えています。

 医療法人社団 はぎわら歯科医院

院長 歯学博士 萩原 鉄也 (高37回)

〒259-1122 伊勢原市小稲葉100-12

0463-92-6449

2022年度 主な大学・短大合格者延べ数

大学名		現	卒	大学名		現	卒	大学名		現	卒
国公立大学				健康科学学院	1	8	1	東京工芸大学	7	2	
秋田県立大学	1	14	2	国際医療福祉大学	15	8		東京経済大学	35	1	
大岡大学	1	15	1	女子医療大学	28	2		東京理科大学	17	7	
鹿角市立大学	1	2		澤模業実践大学	5	5		東京農工大学	7	1	
金沢市立大学	1	1		天南大学	1	4		北志学	1	1	
静岡市立大学	1	4		女子美術大学	1	1		志学	30	1	1
信濃県立大学	1	1	1	湘南工科大学	2	3	1	福松大学	1	2	
筑波大学	1	1	1	昭和女子大学	3	1	1	福松大学	44	7	
都立大学	1	1	1	昭和女子大学	2	3	1	福松大学	2	1	1
弘前大学	1	1	1	成成聖マリアンナ医科大学	6	18	2	福松大学	1	3	
三宮山横	1	2	1	東千文	60	1	1	福松大学	6	1	
私立大学				千摩美術大学	6	2		福松大学	10	2	
青森県立大学	44	5	1	葉工田	1	1		福松大学	17	1	
山形県立大学	18	3		田	15	2	4	福松大学	18	4	
美濃大学	2	8		京平科	38	1	1	福松大学	1	2	1
女子学院	78	13	2	京平科	19	2	1	福松大学	18	8	1
工学院	18	1		京平科	2	1	5	福松大学	3	1	
外国語学院	1	1		京平科	93	1		福松大学	4	3	
里子林塾園	20	20	1	京平科	1	6		福松大学	1	1	
女子義学	1	6	1	京平科	1	1		福松大学	1	1	
秦野市立大学	1	1		京平科	3	1		福松大学	1	1	
秦野市立大学	1	1		京平科	3	1		福松大学	1	1	

お知らせ

会報について

現在、会員の皆様に届けられている「広陵」はホームページでも閲覧できます。

会報送付が必要ない方は、左記へご連絡ください。次号より送付しません。

転勤や結婚など

今までの住所から新たに転居された方は、ご連絡ください。また、会員、旧職員でなくなりになった場合は、ご家族様もしくはご親戚様が連絡をお願いします。

叙勲を受けられた会員の方は、左記へご連絡をお願いします。

連絡先

〒257-0004 秦野市下大槻113
秦野高校内同窓会あて(郵送)
ホームページ
<http://www.koryokai.info/>

会計報告

令和4年度全国大会支援金収支決算報告

収入（繰越金、支援金）	2,222,903円
支出（派遣費、手数料）	191,286円
残金（繰越金）	2,031,617円

本年度は派遣援助金振込用紙を同封しませんが、今後ともよろしくご支援のほど、お願い申し上げます。

令和4年度全国大会

支援金振込者

おめでとうございます。
（敬称略・順不同）
瑞宝双光章
高橋 勝孝（中20回）
（元公立小学校長）
小室 修二（高16回）
（元公立小学校長）

叙勲

2022年度 部活動県大会ベスト8以上の結果

男子ソフトテニス	関東大会予選	団体2位	個人5位
	全国総体予選	団体2位	個人5位
	新人大会県予選	団体3位	個人3位
卓	県高校新人戦女子	団体5位	
剣	全国選抜予選男子	団体5位	
	全国選抜予選女子	団体5位	
	全国総体団体女子	団体5位	
	県高校新人戦女子	団体3位	個人3位
	県高校新人戦男子	団体5位	個人5位
山	県総体登山競技関東の部	優秀校（2位）	
	県総体スポーツライミング大会		
	スピードの部	団体3位	
	ボルダリングの部	3位	
弓	全国選抜大会県予選 男子	優勝	
	全国選抜大会出場 男子		
女子テニス	県新人大会 シングルス女子	準優勝	
か	全国高校選手権大会出場（個人）		
る	全国大会 USA Nationals 2023 高校編成		
チアリーディング	Show Cheerleading部門 Novice	2位	
演	劇 県高校演劇発表会	優秀賞	

春の異動

【退職】
次の先生方が転退職されました。長い間、ありがとうございました。（敬称略順不同）
猪俣 聡 武井 勝
石部 知春 尾崎 容子
杉本 直子（厚木清南）
柴山 寿治（秦野曾屋）
米田 伸彦（平塚湘風）
高橋 裕貴（静岡県立藤枝東）
大井 雅子
石川 皓基（高浜）
村田 一樹（寒川）
上田かおり 水上 慶太

物故者

慎んでお悔やみ申し上げます。
【旧職員】（敬称略・順不同）
能島栄之助（昭49～60）英語
田中正博（昭59～平15）音楽
古部三郎（昭50～平9）数学
平出由喜夫（平1～18）数学
渋谷壽男（昭51～55）美術
【会員】（敬称略・順不同）
中9村井 達 高2岩田克也
中16相原基次 高1中野和雄
中16高橋健雄 高6露木和夫
中16三浦一夫 高6大畠 薫
中17松本悦雄 高7柏木丈一
中18大野惣平 高7尾上庄司
中19尾沢光二郎 高11野川三郎
中19高橋 登 高12相原茂夫
中19野島正雄 高12高橋捷治
中19梶山三郎 高12鈴木正巳
中20高橋勝孝 高16遠藤泰子
中20湯口敏昭 高21古谷敏男
高1穂坂光夫 高29朝倉恒樹
高2小宮房吉 高36小笠原潤
高2鈴木庸弘 中17鈴木和雄
高2小野田久男 高2櫛田 實
高8相川哲郎 高2渡辺福男
高11岡部 淳 高22露木順三
高11綾部和夫 高26清水尚好



秦野高等学校同窓会

会報委員会

〒257-0004 秦野市下大槻1-13番地 県立秦野高等学校内
ホームページアドレス <http://www.koryokai.info/> 振替口座 00120-8-22689

発行責任者 桐山昌幸（高15） 小泉広澄（高17）

北村 卓（高20） 山口雅弘（高14）

長谷川敏子（高17） 原 秀彰（高70）

小椋義一（高19）